

理科

テーマ：

評価者：

評価項目と評価の内容

球陽高校 SS 理数探究Ⅱ 発表(理科) 評価用ルーブリック

身につけさせたい力		Excellent(5)	Good(4)	Developing(3)
主体的な探究心	課題の設定	先行研究・文献が調べられており、研究の目的が明確化されている。	研究の目的は明確であるが、先行研究が調べられていない。	先行研究が調べられておらず、研究の目的も不明確である。
	目的達成への手立て	研究目的を達成するための適切な手法を用いている。	試行錯誤ではあるが、研究目的を達成するための手法を用いている。	研究目的を達成するための適切な手法が用いられていない。
論理的思考力 表現力	論理性	方法、結果、考察が目的に向けて道筋立てられて説明されている。	方法、結果、考察が目的に向けてうまく道筋立てられて説明できていないが、質疑応答の中で補足などをしながら、聴衆に理解させることができる。	方法、結果、考察が目的に向けて道筋立てられて説明されていない。
	表現力	文字、図、表、グラフ、写真が分かりやすく効果的に用いられており、視覚に訴える構成になっている。	文字、図、表、グラフ、写真が使用されているが、視覚的に分かりにくい。	視覚に訴える情報が不十分である。 グラフや表、写真等が効果的に用いられていない。
対話的な協働実践力	質問応答	質問に対する回答は、研究内容の理解に基づいた詳細なものである。	質問にはすべて回答していたが、研究内容の理解が十分でないところがある。	質問に回答できない、質問の意図とは無関係の回答が目立つ。
	チーム力	グループのメンバーが等しく活躍する機会をつくりながら、チームで協力して発表することができる。	たどたどしいところもあるが、チームで協力しながら発表することができる。	研究内容の把握に偏りがあり、チーム全体で発表に臨めていない。

総合得点

/ 30

研究や発表に対するコメントなど